

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



広報

# まつざき

2013  
(平成25年)

12

No.595



## 「秋まつり・子ども相撲」

伊那上神社では、共盟社（宮内）と伏青会（伏倉）の奉納相撲の後に、子ども相撲が行われました。（11/3）

## 町の財政状況

# 平成25年度 一般会計 上期執行状況

平成25年度の4月1日から9月30日までの一般会計の執行状況をお知らせします。

### 歳入

39億8,243万1千円 上段：予算額  
21億2,258万円 下段：収入済額 ( )：収入率 (53.3%)

地方交付税	14億2,749万6千円 10億9,377万4千円	( 76.6%)
町 税	6億7,949万4千円 3億9,543万2千円	( 58.2%)
町 債	4億 682万1千円 0円	( 0%)
国庫支出金	2億4,482万6千円 8,449万1千円	( 34.5%)
県支出金	2億4,803万1千円 2,209万7千円	( 8.9%)
諸 収 入	1億9,888万3千円 1億 860万1千円	( 54.6%)
繰越金	1億円 1億5,199万7千円	( 152.0%)
使用料及び 手数料	7,479万2千円 2,685万2千円	( 35.9%)
地方消費税 交付金	6,700万円 4,137万3千円	( 61.8%)
繰越明許費	5,020万7千円 2,888万7千円	( 57.5%)
そ の 他	4億8,488万1千円 1億6,907万6千円	( 34.9%)

### 歳出

39億8,243万1千円 上段：予算額  
15億9,709万4千円 下段：支出済額 ( )：支出率 (40.1%)

民 生 費	8億1,118万円 3億4,737万9千円	( 42.8%)
総 務 費	6億3,207万円 2億5,260万5千円	( 40.0%)
消 防 費	4億5,987万9千円 1億5,996万5千円	( 34.8%)
衛 生 費	4億5,857万2千円 1億7,440万3千円	( 38.0%)
公 債 費	3億7,764万4千円 1億8,828万3千円	( 49.9%)
農林水産業費	3億5,874万円 2億 280万7千円	( 56.5%)
教 育 費	3億 531万3千円 1億1,660万円	( 38.2%)
土 木 費	2億3,700万円 3,660万円	( 15.4%)
商 工 費	2億1,375万3千円 8,635万1千円	( 40.4%)
繰越明許費	5,020万7千円 76万円	( 1.5%)
そ の 他	7,807万3千円 3,134万1千円	( 40.1%)

### 町民1人当たりでは

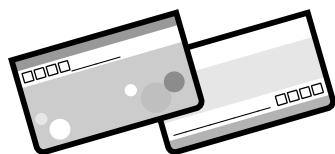
平成25年9月30日までに  
納めていただいた税金(町税) 約5万3千円

平成25年9月30日までに  
使ったお金 約21万4千円

## 9月30日現在の基金(町の貯金)と町債(町の借金)の状況

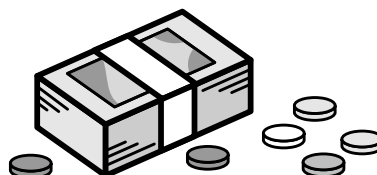
### ●町の貯金(財政調整基金等、13基金)

17億1,675万4千円  
町民1人当たり約23万円



### ●町の借金

30億5,214万4千円  
町民1人当たり約40万9千円



※1人当たりの値は、9月30日現在の人口 7,469人で計算しています。

【問合せ】総務課 (42)3963

# 振興公社管理施設上半期実績

平成25年度上半期振興公社

減少しています。

管理施設の実績は、桜の開花が早く4月初旬に散ってしまつたことや、伊豆への観光客の減少が止まらないことで、入館施設・宿泊施設ともに、厳しい状況となりました。

そのような中、地元の皆様にもご利用いただいております日帰り入浴では、大幅に増加することができました。

入館施設では、特に団体客の減少が大きく、伊豆の長八美術館では前年対比71割、重文岩科学校では48割となっております。

秋以降、値引き企画の「富士山プラン」を実施する等、宿泊客の増加を図っておりますが、今後もお客様のニーズに合わせた企画を検討する等の改善を進め、お客様に喜んでもらえる施設となるよう、職員一丸となって取り組みます。

伊豆まつさき荘においても、4月の宿泊客数が前年対比348人減少する等、夏休み期間が1日多かった7月を除き

企画観光課(42) 3964

## 平成25年度 上半期 施設利用状況

施設名	本年度(人)	前年度(人)	比較(人)	割合(%)	
伊豆まつさき荘	宿泊	10,073	11,134	△1,061	90.5%
	入浴	1,317	812	505	162.2%
	休憩	2,376	2,522	△146	94.2%
	小計	13,766	14,468	△702	95.1%
伊豆の長八美術館	入館	15,644	16,391	△747	95.4%
重文岩科学校	入館	9,614	10,985	△1,371	87.5%
明治商家邸	入館	9,558	9,676	△118	98.8%
民芸館	入館	493	1,628	△1,135	30.3%
道の駅 三聖苑	入館	13,207	14,115	△908	93.6%
	入浴	15,036	15,516	△480	96.9%

## 開拓姉妹都市締結35周年記念事業

## 北海道帯広市へ親善訪問

昭和53年5月20日に、依田勉三翁の北海道十勝の開拓が縁で、帯広市と開拓姉妹都市を締結しました。

以来、子どもから大人に至るまで、教育・文化・産業等、さまざまな分野において交流を深めてきました。

今回、開拓姉妹都市締結35周年の記念事業として、10月

28日から30日まで2泊3日の日程で、町長を団長とした親善訪問団一行16人が晩秋の帯広市を訪問しました。

初日は小樽・札幌市内を見学し、2日目は帯広に向かって、帯広の三天まつりである「おびひろ菊まつり」へ参加させていただきました。

会場内は、約3千鉢の菊で埋め尽くされ、大輪菊等、さまざまな種類の作品を見学することができ、多くの人々で賑わっていました。

その後、依田勉三翁のお墓参りや電信通り商店街を見学し、百年記念館では勉三翁の偉業や功績、そして帯広の自然や文化について学びました。

市役所への表敬訪問では、米沢市長をはじめ関係者の皆様から心温まる歓迎と素晴らしい記念品をいただきました。

また、この日行われた歓迎夕食会では、9月に帯広市からお越しいただいた訪問団の

皆様も出席され、訪問団同士との交流を深めることができました。

最終日は、草木染め体験やばんえい競馬場の施設見学、2万4千坪の広大な敷地がある真鍋庭園をご案内していただきました。

今回の親善訪問では、帯広の歴史と文化、そして広大な大地を肌で感じ、またお互いの交流も深めることができました。

今後とも、両市町の友好の絆が一層深まり、さらなる発展が遂げられますことを期待します。



帯広市からの記念品

「鞍馬(ばんば)」に利用された馬のこと

企画観光課(42) 3964

# 伊豆下田納税貯蓄組合連合会 税の作品審査結果について

毎年11月11日から11月17日までの1週間は、「税を考える週間」です。

国や地方公共団体は、私たちが豊かで安定した暮らしができるように、いろいろな活動を行っています。

例えば、社会保障の充実、施設や道路の整備、教育の振興等、その活動は幅広い分野にわたっていますが、これらの財源は税によって賄われています。

「税を考える週間」は、生活に深い関わりを持っている税について、その意義(必要性)および役割(使途)や、税務行政の現状を分かりやすく説明するとともに、国や地方公共団体の基本となる税に対する理解を深めていただくことを目的として、毎年全国的に税に関する広報等が実施されています。

その行事の一環として、伊豆下田納税貯蓄組合連合会では、今年も小学生・中学生を

対象に「税に関する作品(ポスター、習字、作文)」を募集しました。

この事業は、次の世代を担う小学生・中学生に作品を応募してもらう機会に、私たちの生活に欠かすことのできない税について、その仕組みや目的を知り、税に対する理解を深めていただくことを目的に開催しています。

今年、賀茂地区の小学校・中学校から習字の部に540点、ポスターの部に99点、作文の部に395点の応募がありました。

松崎町では、小学校から習字の部に61点、中学校から作文の部に7点の応募があり、審査の結果、習字の部において入賞者が次のとおり決定しました。

受賞作品は、「税を考える週間」に合わせ、役場窓口税務課前で展示しました。

【問合せ】  
窓口税務課(42) 3968

## 入賞作品

### 習字

静岡県納税貯蓄組合連合会 金賞  
大場洋輔くん(松小6年)



松崎町長賞

佐藤陽哉くん(松小6年)



松崎町教育長賞  
菊地美優さん(松小6年)



伊豆下田納税連絡協議会長賞

鴻野ほのかさん(松小6年)



# 滞納整理強化月間

## ストップ滞納!

町税(町・県民税、固定資産税、軽自動車税)は、納税者の皆様が、決められた納期限までに自主的に納めていただくものです。多くの方には期限までに納付していただいておりますが、残念ながらさまざまな理由により滞納している方がいます。

このようなことから松崎町を始めとする県内の全市町では静岡県と連携し、11月から12月までの2カ月間を「滞納整理強化月間」と定め、徴収の強化に取り組んでいます。

## 滞納解消に向けた取り組み

松崎町では、納期限までに納められた方との公平性を保つため、また、大切な町の財源を確保するため、納期限を過ぎても納付の確認が取れない方には、督促状や催告書の送付、電話による納税勧奨、

臨宅徴収の実施等により、自主納付のお願いをしております。

しかし、これらの催告に対しても納付や相談がない場合は、納期限内に納付していただいた方との税負担の公平性の観点から、法律の規定に基づき、預貯金、生命保険等の財産の調査を行い、差押えを実施しています。

また、静岡県下田財務事務所においても、県税(自動車税、個人事業税、不動産取得税等)の滞納者に対して松崎町と同様の取り組みを行っています。

この「滞納整理強化月間」期間中、松崎町および静岡県は催告や調査、差押え等を集中的に実施しています。財産の差押えは、国税徴収法の規定に基づき行うもので、事前に滞納者に相談することはありません。未納になっている方は、早急に納付をお願いします。

## 納付は便利な口座振替で

町税等の口座振替は、利用者の指定した口座から自動的に振替納付ができる制度です。納付のたびに役場や金融機関、郵便局に出掛ける手間が省けるだけでなく、納め忘れることや、現金を持ち歩く必要がないので安心です。

口座振替を希望の方は、窓口税務課または町内金融機関(ゆうちょ銀行を含む)の窓口にある口座振替依頼書に必要事項を記入の上、提出してください。

## 納付が困難な場合は

生活困難や事業不振等、さまざまな理由で納期限までに納めることができない場合は、早めに窓口税務課までご相談ください。

## 【問合せ】

町税について  
窓口税務課(42) 3968  
県税について  
下田財務事務所納税課  
(24) 2019

## 滞納処分の流れ



### ◎納税催告

納期限が過ぎても納付しない方に対し、督促状、催告書の送付、電話催告、自宅訪問を行います。

### ◎財産調査

催告に応じない滞納者の財産について、官公署・金融機関・生命保険会社等に対し調査します。

### ◎給与調査

滞納者が給与所得者である場合は、給与差押をするために、勤務先に対し給与調査を行います。

### ◎滞納処分(財産差押・換価処分)

納期限を過ぎても納付せず、税金を滞納したまま放置しておく、法律に基づき滞納者の意思に関わりなく強制的に財産の差押等の処分を行います。

## お忘れなく 償却資産の申告

個人や法人で事業を行っている方が、その事業のために用いている構築物、機械および装置、船舶、工具・器具および備品等の有形固定資産を「償却資産」といい、土地や家屋と同じように固定資産税が課税されます。

これら事業用資産をお持ちの方は、資産の多少にかかわらず毎年1月1日現在の所有状況を償却資産の所在する市町村長に申告していただくこととなります。

12月中旬に申告書を送付します。必要事項を記入し、提出してください。

※新しく事業を開始した場合等、申告書が送付されていない事業主の方は窓口税務課までご連絡ください。必要書類をお送りします。

## 【申告期限】

平成26年1月31日(金)

## 【問合せ】

窓口税務課(42) 3968

# 松崎町功労者表彰

11月21日、松崎町功労者表彰式が、環境センター文化ホールで行われました。

この表彰は、松崎町表彰条例に基づき、町の自治、福祉等、各般にわたって、町の発展に寄与された方の功績をたたえるものです。

受章された方々は、次のとおりです。

## 有功表彰

中村 斉藤貞一郎さん

(元 町議会議員)

多年にわたり、町議会議員として町政の発展に尽力し、地方自治の振興に貢献。

伏倉 関和也さん

(元 農業委員)

多年にわたり、農業委員として地域の農業振興のみならず、町内の産業活性化に貢献。



平成25年度松崎町功労者表彰式にて

岩地 高橋多聞さん

(元 農業委員)

多年にわたり、農業委員として地域の農業振興のみならず、町内の産業活性化に貢献。

那賀 藤井昭一さん

(現 農業委員)

多年にわたり、農業委員として地域の農業振興のみならず、町内の産業活性化に貢献。

雲見 鈴木安一郎さん  
(元 農業委員)

多年にわたり、農業委員として地域の農業振興のみならず、町内の産業活性化に貢献。

## 善行表彰

雲見 高橋英男さん

雲見 鈴木八十志さん

7月12日に、雲見海岸沖で発生した水難事故において、迅速な対応により漂流者を救助。



受章者の藤井さんから謝辞

【問合せ】  
企画観光課 (42) 3964

# 松崎文芸

— 短歌 —

楽隠居の夢は夢にて終らむか

痛み腕にてキャベツをきざむ

荒れはてし畑となりたり夏草は

伸びはうだいに種まきちらす

砂防を落ちる水は光をとみなひて

研ぎすまされし刃物にうつる

老いひとり生きる手だてをおもふとき

心におひさまやっぱり欲しい

植ゑつけてひと月を経て早ばやと

穂の孕みたり早生稲らしく

中村宣子

山本しづ子

堀岡洋子

飯野ふさ

平野もみ子

## 町職員募集 (大卒・短大卒)

町では、平成26年度採用の職員を募集します。

- 【採用人員】 事務職員 若干名
- 【受験資格】 昭和58年4月2日以降に生まれた方で大学・短期大学を卒業した方。(卒業予定の方を含む。)
- 【受付期限】 12月20日(金)
- 【試験日程】 第1次試験  
1月11日(土)  
10:00~
- 【試験会場】 環境センター
- 【問合せ】 総務課 (42) 1111

# ～まちのできごと～

## 10/30 姉妹都市帯広市から季節の贈り物



開拓姉妹都市の帯広市から特産品のじゃがいも200<sup>キロ</sup>が届きました。贈っていただいたじゃがいもは、学校給食のメニューに加えられ、子どもたちが味わいました。

## 11/9～11 第33回松崎町文化協会芸術祭



環境センターでは、松崎町文化協会が主催する芸術祭が開催されました。125人の方から出品された212点が展示され、多くの方が観賞に訪れました。

## 11/4 まつざき温泉熱利用プロジェクト勉強会



環境センター研修室では、まつざき温泉熱利用プロジェクトの第1回勉強会が開催され、地熱エネルギーや温泉熱利用についての講演やワークショップが行われました。

## 11月中旬 冬の風物詩浜囲い設置



松崎、石部、雲見海岸では、伊豆西海岸特有の西風に備えるため、浜囲いの設置作業が行われました。浜囲いは、海岸に風の通り道をふさぐように設置され、砂の飛散を防止します。

## 秋まつり

収穫の秋を迎え、10月中旬から11月3日までの間、町内各地区で秋まつりが開催され、太鼓や笛の音が響き渡っていました。私も各地域のまつりを見物させていただきましたが、どの地域も活気があり、地域が一丸となってまつりを盛り上げている姿に感銘を受けました。

見物している時、町内出身の方とお話しをする機会がありました。その方は、「毎年、秋まつりには必ず帰省しています。太鼓や笛の音を聞くと、愛郷の想いが強くなる。」と話していました。この言葉を聞き、「ふるさとのまつり」の強さを改めて感じました。

各地区では、秋まつりの約1カ月前から地域の伝統を継承するため、仕事を終えた夜間に公民館や神社等が集まり、若い人たちが中心となって練

## 町長室からこんにちは ④8

習に励んでいます。こうした活動を通じ、毎年のまつりを地域に住む一人一人の手で創り上げていくことが、地域の強さや活性化に繋がる貴重な町の財産だと思えます。

全国の市町村では、少子高齢化や過疎化により、若い世代の都市部への流出に歯止めがかからず、地域の伝統を継承することができなくなり、地域のコミュニティが衰退してしまつた事例が多くあります。しかしながら、松崎町の秋まつりを見ると、こういった心配は無用のように感じました。

まつりの運営には、さまざまなお苦勞があるとは思いますが、来年も素晴らしいまつりを開催していただきたいと思えます。

松崎町長  
齋藤 文彦

### 町の人口と世帯

(平成25年10月31日現在)  
( )内は前月比

総人口	7,462人	(-7人)
男	3,539人	(-4人)
女	3,923人	(-3人)
世帯数	3,062戸	(+3戸)
転入	19人	転出 17人
出生	5人	死亡 14人

### 町の交通事故

平成25年10月発生分  
( )内は前年同月比

人身事故	1件	(-1)
物損事故	12件	(-1)
死者	0人	(±0)
傷者	1人	(-4)

### おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
東区	齋藤定雄	83	セ ン
中区	野村英香	88	年 枝
伏倉	松原貞代	92	敏 朗
宮内	石崎重一	80	昌 幸
岩地	長嶋くま	87	精 一
石部	高橋良平	89	高橋徳良
峰	佐藤長造	95	岡山しのぶ
伏倉	山本芳美	86	山本英美
岩地	齋藤ため子	86	齋藤正男
中村	山本 昭	82	喜美子
東区	越水幸夫	81	敏
岩地	齋藤いし	91	恒 雄
指川	稲葉 茂	89	は な 子
峰 輪	細田 林	69	光 代

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

### (10月届出分) 戸籍だより



### おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
江奈2	楓 <small>かえで</small>	女	石田 稔
船田	雅 <small>ま</small> 広 <small>ひろ</small>	男	山本 泰士
江奈2	龍 <small>りゅう</small> 牙 <small>が</small>	男	藤井 雅人
江奈2	虹 <small>に</small> 子 <small>こ</small>	女	高橋 和彦

### ストップ!悪質商法被害

あなたも賢い消費者に<sup>23</sup>!

#### 「新成人は狙われる!」

20歳の誕生日を迎えると突然、「キャンペーン会員に選ばれた!」というハガキが届いたり、時には自宅に電話が入ったりすることもあります。

また、街を歩いているとアンケートへの協力を求められたり、展示会の誘いを受けたり、またはインターネット上では簡単に利益を上げることができるといふ広告、欲望を刺激するようなサイト等がたくさんあります。

日本では、20歳未満は未成年者とされ、仮に契約をしてしまったとしても、親の同意を得ていないのであれば「未成年者取消」を主張することによって、契約を解除する方法が用意されています。

しかしながら、20歳を迎えた途端、この制度の対象から外れることになり、悪質事業者はこのタイミングを狙っています。

20歳を迎えたら悪質事業者のかつこうのターゲットになっていることを十分認識し、安易に上手い話に乗らないように慎重な対応をしてください。

(文と絵) 司法書士 山田 茂樹  
【問合せ】企画観光課(42)3964



## 地域交流通信

### 松本市安曇地区から 旧大野川校と 集落跡を訪ねる

松本市で先進的に取り組んでいる「学校サポート事業」の一環として、10月2日、安曇公民館と大野川小中学校との共催で標記の事業を実施しました。

当初20人程度を予定し募集をしましたが、最終的には35人の参加となりました。当日、天候に恵まれる中、こんなところにも道があったのかと驚きながら、かの有名な鎌倉街道を進みました。

途中、大野川旧集落があった場所を通過し、歴史の変遷を感じながら、当時に思いをはせ学校跡を目指しました。県道から少し登ると旧学校の校門があり、全員で記念写真を撮りました。地元の方から旧学校の概要を聞き、当時をしのびながら学校跡を見学しました。

次に、旧学校のはずれの上の方にある潜流瀑(岩の間から水が染み出てくる滝)を探検するため、大きな石や岩が

ゴロゴロする斜面を、ロープ(この日のために地元の方が準備)をつかみながら登り、滝の下に到着しました。

このような神秘的な滝がこんな場所にあったのかとの驚きと、滝の素晴らしさにしばし見とれ、全員でマイナスイオンを体中に浴びました。

名残が惜しかったのですが、最後は大野川の「梓水神社」の見事な龍等の彫刻を見学して探訪を終わりました。昔の大野川集落の暮らしぶりを知る上で、大変貴重な体験をすることができました。

(安曇公民館 斉藤 久)



旧大野川校の校門にて記念撮影